

新屋地区における衛生環境

衛生環境
穂積惇

当新屋地区に於ける衛生環境を顧みるに誠に憂心にたえぬものがある。医療機関をみるとバルブ診察所と婦幼の診療所の他に有設として三間医と歯科医師が存在するのみで土産と較べてみても、その人口比からみてあまりに貧弱な医療機関といつてよからう。從て今回の流感の如き流行性の疾病にあつては誰かこれだけの医療機関では到底応じざるものではなく、又渉田、郡谷、下浜方面の農村地区を除いてこととて更に今回の流感の如き流行性の疾病にあつては誰かこれだけの医療機関では到底応じざるものではなく、又渉田、郡谷、下浜方面の農村地区を除いてこととて

するのみで土産と較べてみても、その人口比からみてあまりに貧弱な医療機関といつてよからう。從て今回の流感の如き流行性の疾

病にあつては誰かこれだけの医療機関では到底応じざるものではなく、又渉田、郡谷、下浜方面の農村地区を除いてこととて

新屋の酒談議

栗原光

酒はなんと云つても東の秋田、西の難、その秋田県八十三精霊のうち郷土の新屋酒は有名である。新屋町は酒の産地として古い歴史を持つ、文献によれば宝曆四年(今から二〇三年前)六人の酒屋業者があつたようである。文政十二年(一八〇〇年頃)藩命により大門助石井門が、藩の用酒を醸造する事となり、御試所にて「廣山」の酒名を以て上納したのがそもそもの始めと記されている。現在業者は渡辺幸四郎(勝平)、川口新助(高橋清兵衛(黄金井))、川口新助(高橋清兵衛(黄金井))、川口新助(高橋清兵衛(黄金井))。

酒はなんと云つても東の秋田、西の難、その秋田県八十三精霊のうち郷土の新屋酒は有名である。新屋町は酒の産地として古い歴史を持つ、文献によれば宝曆四年(今から二〇三年前)六人の酒屋業者があつたようである。文政十二年(一八〇〇年頃)藩命により大門助石井門が、藩の用酒を醸造する事となり、御試所にて「廣山」の酒名を以て上納したのがそもそもの始めと記されている。現在業者は渡辺幸四郎(勝平)、川口新助(高橋清兵衛(黄金井))、川口新助(高橋清兵衛(黄金井))。

(国万歳)、高橋九郎右衛門(宝生)の四氏である。

さて、此頃の酒造界の様子は、いつも不景氣知らず。特にこの二

年は神武以来の豊作景氣で酒造力があつても、その飼當量に制限

があり、アルコール添加率を減らしていくので味の方ではぐんとよくなつてゐるのが実状である。

東西両横綱、秋田銘酒と灘の生一本とを比較すると、勿論秋田酒の方が優秀である。なぜならば双方に原料である米と水質に恵ま

れでいるが、酒造りに欠く事の出来ない寒氣の点が秋田酒に大いに寄与している。

しかし残念ながら東北人の悠長さが関西人の積極的な商魂に押され氣味、宣伝力の点で引けをとつ

て、此頃の酒造界の様子は、いつも不景氣知らず。特にこの二

年は神武以来の豊作景氣で酒造力があつても、その飼當量に制限

があり、アルコール添加率を減らしていくので味の方ではぐんとよくなつてゐるのが実状である。

東西両横綱、秋田銘酒と灘の生一本とを比較すると、勿論秋田酒

の方が優秀である。なぜならば双方に原料である米と水質に恵ま

れでいるが、酒造りに欠く事の出来ない寒氣の点が秋田酒に大いに寄与している。

しかし残念ながら東北人の悠長さが関西人の積極的な商魂に押され氣味、宣伝力の点で引けをとつ

て、此頃の酒造界の様子は、いつも不景氣知らず。特にこの二

年は神武以来の豊作景氣で酒造力があつても、その飼當量に制限

があり、アルコール添加率を減らしていくので味の方ではぐんとよくなつてゐるのが実状である。

